

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	コロナ禍から引き続いて、町内会や地域住民との交流が思うようにできておらず、災害時の地域との協力体制も構築できていない現状である。	災害時における地域住民との協力体制や地域の福祉事業所としての役割を明確にする。	町内会や地域住民の方に、運営推進会議や行事等に参加して頂けるよう配慮し、また地域で実施される防災訓練等へ積極的に参加し、災害時に相互に協力できる関係性と整えていく。	12ヶ月
2	39	実際に被災を想定した備蓄品と防災品となっているか、また備蓄品や防災品の配置場所が避難する際に持ちしやすい場所となっているか見直しが必要である。	常日頃から、備蓄品や防災品が整い、また避難する際に効率よく運び出せる場所に設置している状態が維持できる。	定期的に備蓄品や防災品の見直しを行い、必要に応じた場所に設置できるよう検討を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。